

2026.03

# ヘルメット取付資料

B+COM  
7X<sup>EVO</sup>

×

SHOEI  
X-fifteen



# 取付前の準備

## 1. 取付準備

SHOEI ヘルメット「X-fifteen」の B+COM 取付方法をご紹介します。



## 2. B+COM の準備

B+COM1 キット分を用意します。



## 3. パッド取外し

ヘルメットの左側チークパッドとイヤerpッドを取外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。

※内装は Z-8 のものですが同様です。



# スピーカーの取付

※画像は Z-8 のものですが同様の方法で進めてください。

## 4. 面ファスナーの貼付け

ヘルメット内の左右にあるイヤースペースへ、「スピーカー固定用面ファスナー」をそれぞれ貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。

※内装は Z-8 のものですが同様です。



## 5. 調整パッドの活用

耳とスピーカーの間隙を調整することで、本来の音量、音質が得られます。

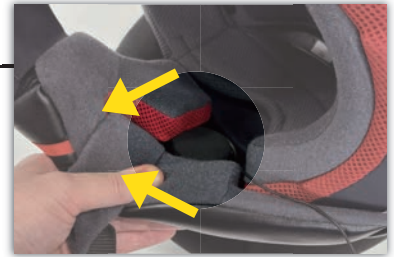
※調整パッドをご使用してください。

耳が押されて痛い場合は外してください。



## 6. 右側スピーカー取付け

スピーカーを取付けます。イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツです。**



## 7. スピーカー配線 1

ヘルメット後方右側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



## 8. スピーカー配線 2

ヘルメット後方左側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



## 9. 左側スピーカー取付け

スピーカーの左耳側を取付けます。



## ワイヤーマイクの取付け

※画像は Z-8 のものですが同様の方法で進めてください。

### 10. マイクスポンジ取付け

ヘルメットのチンガードの裏側、風の影響を受けやすいエアインテークを避けた上よりの位置にワイヤーマイクスポンジを貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。



### 11. ワイヤーマイク取付け

チークパッド内側のスナップを避けて配線しながら、ワイヤーマイクを取付けます。

※穴の空いている方が、集音する方向です。口元に向けてご使用ください。



# マグネットクレードルの組立て

## EX1. マグネットクレードルの用意

マグネットクレードル本体、保護ラバー、ワイヤークリップを用意します。  
組立にはドライバー No.1 が必要になります。



## EX2. ワイヤークリップホルダー取外し 1

ドライバーを使用して、ワイヤークリップホルダーを固定しているネジを1箇所外します。



## EX3. ワイヤークリップホルダー取外し 2

ワイヤークリップホルダーを取外します。



## EX4. 保護ラバー貼付け

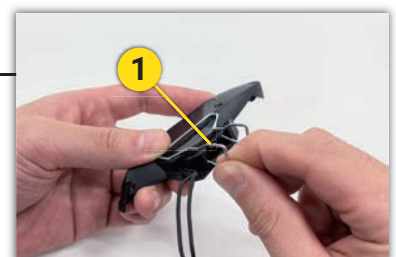
貼付部の角に合わせながら、保護ラバーの大きをそれぞれ貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。



## EX5. ワイヤークリップ差込み 1

ワイヤークリップの①側をヘルメット後方側の穴に差込みます。



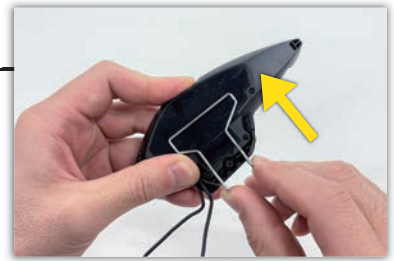
## EX6. ワイヤークリップ差込み 2

ワイヤークリップの②側をヘルメット前方側の穴に差込みます。



## EX7. ワイヤークリップ差込み 3

①と②を同時に押込みます。



## EX8. ワイヤークリップホルダー固定

ワイヤークリップホルダーを取付け、ネジを締めて固定します。



## EX9. 完成

ワイヤークリップホルダーが浮いていたり、ガタつきがないか確認してください。



## マグネットクレードルの取付け

### 12. マグネットクレードル取付け 1

帽体の左側面に、ベースプレートを斜めに差込みます。



### 13. マグネットクレードル取付け 2

差込んだベースプレートを回転させ、ヘルメットのフチに当たるまで奥に押し込みます。

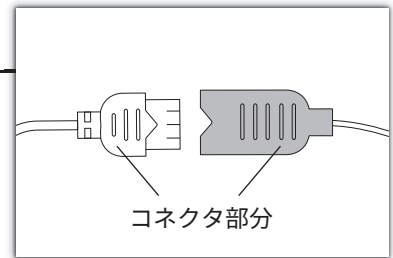


# 配線方法

## 14. スピーカー、マイクコネクタの接続

コネクタの端子の凹凸の向きに注意して、それぞれのコネクタを接続します。

※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らず、コネクタ部分を持って抜き差しを行ってください。



## 15. チークパッド取付け 1

各配線に無理な負担がかかったり、噛み込んだりしないよう注意し、チークパッドを差込みます。



## 16. チークパッド取付け 2

ケーブルをホックで挟み込んだり、折れたりしないよう注意し、ホックをとめます。



# 本体の取付け

## 17. 本体ユニットの取付け

本体を取付て完成です。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。

